生　涯　学　習

施策展開の方向性及び主要事業……38
啓発事業……46
生涯学習センター……46
青少年教育……48
成人教育……48
南部青少年センター……49
公民館……51
図書館……53
文化財……55
埋蔵文化財調査センター……57
文化財一覧……61
加曽利貝塚博物館……67
郷土博物館……70
科学館……72

生　涯　学　習

■施策展開の方向性及び主要事業

1　学習活動のきっかけと場の提供　市民の学び始めをお手伝いします。

①生涯学習の普及啓発

【学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催】

まなびフェスタ

生涯学習センターでは、公募団体等による講座・体験教室、展示・ステージ発表、コンサート、映画上映会など、子どもから大人まで参加できるイベントを開催します。

公民館文化祭

生涯学習の意義や学びの楽しさを公民館文化祭を通じてＰＲします。これにより、地域における学習意欲の向上、課題解決への取組の促進を図ります。

科学フェスタメインイベント

市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることのできる総合的な科学・技術の祭典として「科学フェスタメインイベント」を科学館で開催します。

縄文春・秋まつりなどのイベント内での実施

体験学習（組ひもづくりや各種工作体験など）、博物館・史跡公園内の見学などを実施します。

郷土の歴史に興味を持つきっかけづくりとなるイベントの実施

体験学習用の鎧やむかしの着物を活用したイベント、昔あそび体験や組紐づくり体験等を行います。

特別展関連ワークショップ

体験を通して、古代の人々に興味を持ってもらい、埋蔵文化財への理解を深めるきっかけとします。

市民講座、企画展示等の実施

図書館での学びのきっかけとなる市民講座や読書まつりなどのイベント、図書館資料を使った企画展示を実施します。

【学ぶ場と学ぶための情報提供の充実】

ＳＮＳ等の活用、市以外が実施する講座情報の収集・提供

生涯学習センターでは、ホームページやＳＮＳも活用し、講座情報を発信します。生涯学習広場にて、近隣大学その他の社会教育施設等の講座や資格取得に関する情報を提供します。

ＳＮＳを活用した講座情報の提供

ＳＮＳを活用し、公民館主催講座の情報を発信します。市政だよりや公民館情報誌、公民館だよりなどの発行により、学ぶための情報を提供します。

ＳＮＳを活用したイベントの配信

ＳＮＳを活用し、企画展示 、講演会、おはなし会など学びのきっかけとなるイベント情報を配信します。

オンラインを活用した科学館リニューアル展示の紹介

リニューアルされた展示物について、オンラインを活用して紹介することで、科学館のＰＲにつなげるとともに、最新の科学技術への興味の涵養を図ります。

②学習環境の整備

【生涯学習施設等の利用環境の充実】

生涯学習センターのＷｉ－Ｆｉ環境の整備

施設利用者の利便性や学習環境の向上のため、貸出施設（諸室）のほか、館内に無線ＬＡＮによるインター

ネット接続環境を整えます。

公民館のＷｉ－Ｆｉ環境の整備

施設利用者の利便性や学習環境の向上、オンラインを活用した講座の実施のため、Ｗｉ－Ｆｉ環境を全公民館においてすべての諸室に整備します。

科学館のＷｉ－Ｆｉ環境の整備

施設利用者の利便性や科学館内で実施する講座における学習環境の向上のため、Ｗｉ－Ｆｉ環境を整備します。

図書館のＷｉ－Ｆｉ環境の整備

利用者自らによるインターネット上の資料検索や収集を可能とすることで図書館における学習機会の充実を図ります 。

生涯学習センターのオンライン講座の充実

主催講座としては、効果的なオンライン講座を企画・実施します。また、デジタルデバイドの解消を目指したメディア学習講座を実施します。

公民館のオンライン講座の充実

オンラインを活用して、公民館から受講者への配信や近隣施設または連携する公民館へサテライト配信するなど、直接会場に行かなくても受講できる講座を実施します。

科学館の安定した運用とサービスの充実

更新したプラネタリウム投影機、全天周デジタル映像システムの性能を生かし、魅力あるコンテンツの投影や関連イベントの開催を図ります。

【子どもの居場所づくりの推進】

どこでもこどもカフェ、プレーパークの実施

信頼できる大人が見守る中、子どもが自由に過ごすことができる地域の安全・安心な居場所として「どこでもこどもカフェ」及び「プレーパーク」を拡充します。

公民館自習室の開放

子どもの安全・安心な居場所づくりの一環として、公民館の空きのある諸室やロビーを自習室として開放します。

【生涯学習施設の老朽化への対応】

社会教育施設保全計画の推進

学習活動や地域活動の拠点となる施設を提供し、市民の学習活動や生きがいづくりを通じて持続可能なまちづくりを目指すため、社会教育施設保全計画〔公民館・図書館〕に基づき、公民館及び図書館施設の計画的保全及び再整備を推進します。

千城台公民館・ 若葉図書館の再整備

生涯学習環境を改善するために、老朽化した千城台公民館および若葉図書館を複合化して、建て替えを行います。また、公民館の主催講座やサークル活動における図書資料の活用をはじめ、公民館で育成した人材の図書館での活用、施設の相互利用の促進を図ります。

生涯学習施設の改修・修繕

生涯学習施設の老朽化した施設・設備の改修・修繕を行います。

【公民館の改修】

公民館のバリアフリー化

だれでもが利用しやすい公民館を目指し、バリアフリー化を進めます。

2　多様な学習機会の充実　多種多様な学びの機会を確保し、市民の学習活動を支援します。

①郷土や地域への愛着を深める学習機会の提供

【郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実】

加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業

初級者から上級者まで、段階に合わせた考古学講座を実施します。また、体験学習型のイベントも実施するほか、学校と連携した取組を検討します。また、加曽利貝塚発掘調査の成果をいち早く公表するための現地説明会の開催や加曽利貝塚をはじめとする市内の発掘調査の成果や近年の研究成果を遺跡発表会で公表します。

千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業

企画展と関連した内容の講座や市内大学等と共催による講座などを実施します。また、館外へ展示パネルを貸し出したり、ホームページやＳＮＳを用いての情報発信に努めるなど、市民が郷土の歴史に触れる機会を増やします。また、子どもたちの郷土史への理解や関心を高めるため、出前授業やワークシートの作成などを行います。埋蔵文化財調査センターや郷土博物館、生涯学習センターなどで市内の埋蔵文化財に関する展示、講座を実施します。

千葉氏ゆかりの地への説明板設置

市内外の方が、都市アイデンティティの柱の一つである千葉氏を知る「きっかけ」づくりのため、市内の千葉氏ゆかりの地に説明板を設置します。

身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

公民館において、郷土や地域に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図るため、地域に密着した資源を活用した講座等を実施します。

【特別史跡加曽利貝塚の魅力向上】

新博物館の整備

令和４年２月に策定した「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」に基づき、縄文文化とＳＤＧｓを学ぶことができる博物館を新たに整備します。

史跡の整備

平成 31 年２月に策定した「特別史跡加曽利貝塚グランドデザイン」に基づき、史跡来訪者の利便性向上を図るとともに、縄文時代の景観復元を目指した整備を行います。

【縄文文化調査研究の推進】

特別史跡加曽利貝塚の究明に向けた発掘調査

計画的な発掘調査を進めるとともに、現地説明会や博物館での速報展示等を通じ、その成果を広く発信します。

縄文時代の文化や社会に関する研究

東京湾岸の大型貝塚群を起点に、専門研究の深化と諸分野との共同研究を推進します。また、ＳＤＧｓの視点から縄文文化や加曽利貝塚の価値を捉える研究を進めます。

【千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施】

千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

千葉氏をはじめとする郷土の歴史について市民の興味関心を高めるため、魅力的な企画展を計画的に開催します。

【千葉氏に関する調査研究の推進】

千葉氏に関する史料の調査

開府９００年に合わせて、史料集として刊行しましたが、継続的に千葉氏関係の史料を収集・調査します。

千葉氏関連遺跡等の出土資料の整理

千葉開府以前の千葉氏の状況を明らかにするため、土気地区の出土資料を整理します。

【郷土博物館の充実】

郷土博物館の展示の充実

令和７年１１月、千葉氏をはじめとする郷土の歴史がわかる常設展示に展示リニューアルを行いました。

【千葉市史史料編近現代の刊行】

千葉市史史料編近現代の刊行

千葉市の近現代に関する史料を収集・調査し、それらの中から、市の歩みにとって重要な史料や特徴を示す史料を掲載した史料集を編集し、刊行します。

【文化財の保存･活用の推進】

文化財保存活用地域計画の作成

市内文化財の保存・活用に関する中長期的な基本方針と具体的な事業などを定める文化財保存活用地域計画を作成します。

【地域情報サービスの充実】

「千葉市民の知」の計画的な集積と発信

「知」のアーカイブ化に関する計画を策定し、デジタル資料の提供やインタビュー手法を用いて、隠れたエピソードや失われつつある記憶といった「千葉市民の知」の発掘・記録・発信するとともに、これらの情報をレファレンスサービスとリンクした活用を推進し、地域情報サービスの充実を図ります。

②市民ニーズに対応した学習機会の提供

【文化・芸術学習事業の実施】

文化・芸術学習事業の実施

文化芸術の振興に取り組むため、「文化芸術振興計画」に基づき、各施策・事業を総合的かつ計画的に推進します。

【スポーツ・レクリエーション事業の実施】

スポーツ・レクリエーション事業の実施

スポーツ・レクリエーションを推進するため、「スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を総合的かつ計画的に推進します。

【科学関連学習事業の実施】

未来の科学者育成プログラムの充実

科学に高い興味・関心をもつ小・中・高校生に対し、市内の大学等研究機関や企業などが有する高度な科学技術を体験させることにより、未来の科学者を目指す意欲を高めます。

シニア科学講座の実施

シニア・シルバー世代が科学への興味・関心を高め、科学に親しめるように、いきいきセンター ・ プラザなどの市内各施設を会場として、出前講座を実施していきます。

科学関連学習事業の実施

生涯学習センターにて、科学都市戦略事業方針に基づき、現代的課題学習として科学関連学習講座を開催します。また、公民館において、幅広い年代に対して、科学・技術に親しみを持ち、理解を深めることのできる学習機会を提供します。

【青少年教育・少年教育事業の実施】

主催講座の実施

生涯学習センターでは 、現代的課題学習の一環として、青少年・少年教育に関連する講座を開催します。また、中学校・高等学校演劇発表会の支援も行います。公民館では、子どもや若者に対して学校や家庭では体験できない体験学習・工作等の学習機会を提供します。南部青少年センターでは、小中学生を対象に工作・

料理など体験活動を重視した講座を開催し、異年齢の交流を通して青少年の健全な育成を図ります。

【電子書籍サービスの充実】

電子書籍サービスの充実

新たな時代の「学び」を支援するため、コンテンツの充実や子ども読書活動の推進を図り、電子書籍サービスを充実します。

【レファレンスサービスの充実】

レファレンスサービスの充実

中央図書館に法律・経済等のオンラインデータベースを導入し、専門性の高いレファレンス機能の充実及び情報提供サービス機能の向上を図ることを通じて、市民の知的活動を支援します。

【多様な主体による学習活動の推進】

生涯学習センター、公民館において多様な主体と連携した事業の実施

大学、民間企業、ＮＰＯ、社会教育関係団体等の多様な主体と連携し、それぞれの専門性を生かした講座等を開催します。

【公民館への社会教育主事有資格者配置】

公民館への社会教育主事有資格者配置

社会教育活動の活発化や、地域住民からの相談対応の充実を図るため、公民館における社会教育主事有資格者の配置を進めます。

【学習相談の充実】

学習相談の充実

生涯学習センターでは、最新の生涯学習情報を収集し、相談者へ的確な情報提供を行います。また、相談者の学習活動が発展するよう、きめ細かい助言を行います。公民館では、学習活動を行う中での問題や悩みについて、学習情報を提供するなど、解決へ向けた助言を行います。

③現代的課題に対応する学習機会の提供

【生命やくらしを守る学習の充実】

生命やくらしを守る講座の実施

生涯学習センターにおいて、防災意識を高めるため、また健康的な生活を送るためや、自立した消費者として安心安全な生活を営むための学習機会を提供します。また、公民館において、防災・環境教育・健康・消費生活トラブルなど、生命や生活を守るための学習機会を提供します。

デジタルデバイドの解消

生涯学習センターにおいて、ＩＣＴリテラシー向上のため、スマートフォン・パソコンや各種サービスの使い方など幅広いニーズに対応した講座を実施します。また、公民館において、特に高齢者のＩＣＴリテラシー向上のため講座を実施します。

【子ども達の放課後対策】

アフタースクール事業の推進

児童が放課後を安全・安心に過ごせる居場所を確保するとともに、多様な体験・活動を通じて社会性や自主性、創造性を育むことができる環境を整備するため、余裕教室その他の学校施設を有効活用し、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営する「アフタースクール」の拡充を進めます。

放課後子ども教室の実施

小学校の放課後において、学校施設を活用して地域の多様な人々の参画を得て、様々な体験活動を実施します。

【家庭教育支援事業の実施】

家庭教育支援チーム

子育てに関する情報や学習機会の提供などの活動を行い、家庭と地域、関係機関のつながりづくりを支援します。

子育ておしゃべりタイムの実施

公民館では、子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが、子育てに関する悩みや不安をもつ親の相談に応じ、子育て仲間づくりを支援します。

【子ども読書活動の推進】

子ども読書活動の推進

子どもが自主的に読書をする習慣を身に付けることができるよう「子ども読書活動推進計画」に基づき、発達段階に応じた取組、家庭・地域・学校と連携した取組を計画的に推進します。

【高齢化社会に対応した学習支援】

生きがいづくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座の開催

生涯学習センターでは、生きがいづくり・仲間づくりや健康・福祉に関する講座を開催します。認知症・遺産相続・健康等のテーマも扱います。公民館では、健康増進や生きがいのある生活を送るため、公民館において、生きがいづくり・仲間づくりや健康・福祉に関する講座を開催します。いきいきプラザ、センターでは、単なる知識の習得に留まらず、生きがいづくり、仲間づくりの機会を提供します。

【公民館の機能強化】

地域課題解決に向けた講座及び相談支援体制の充実

公民館において、社会教育主事有資格者の更なる活用や社会教育士との連携の強化を図ることにより、地域の諸団体等と連携しながら地域課題の早期把握に努めるとともに、その解決に資する講座を開催します。また、各地域における課題解決に向けた講座の拡充を通して、その成果が地域に還元され循環となるサイクルを構築する相談体制づくりを目指します。

【キャリア教育・リカレント教育の推進】

キャリア教育の推進

自己の進路・将来を主体的に考えることができる力を育成するとともに、社会的・職業的自立を目指し、児童生徒一人一人 のキャリア発達を促す教育活動を推進します。また、生涯学習センターにて、現代的課題学習の一環として、現役世代を対象としたキャリア教育に関連する講座を開催します。

リカレント教育の推進

幅広い市民が自らのスキルアップやキャリアアップにつなげられるような「学び直し」の機会提供や仕組みづくりを推進します。

【ＳＤＧｓの達成に寄与する学習機会の提供】

縄文社会の持続可能性に関する講座・事業の展開

「縄文文化とＳＤＧｓを学ぶことができる博物館」を目指して整備を進めている特別史跡加曽利貝塚新博物館では、展示や体験を通じて縄文時代の循環型社会を学ぶ機会を提供します。

科学館におけるＳＤＧｓに関する事業の展開

科学館において、ＳＤＧｓに関する講座や事業を実施します。貸出し用タブレットを活用し、展示物のＡＲ体験をしながら、ＳＤＧｓを学ぶ機会を提供します。

3　学習を生かした活力あるコミュニティづくり　学びによって得た知識や経験が社会に還元され、持続可能で活力あるコミュニティの形成を目指します。

①地域の担い手となる人材の発掘・育成

【公民館への社会教育主事有資格者配置】

公民館への社会教育主事有資格者配置

地域の人材を発掘、育成するためのコーディネーターとして、公民館における社会教育主事有資格者の配置を進めます。

【ボランティアの発掘・育成】

ちば生涯学習ボランティアセンター 運営

ボランティア活動をしたい個人・団体と活動を依頼したい組織（学校・公民館・自治会等）をつなげ、生涯学習ボランティアの活動を支援します。

科学館ボランティア

科学館運営の中で、ボランティアの活動を拡大・多様化・発展的にし、より充実感をもった活動を実施できる体制にします。また、サイエンスコミュニケーターとしても活動できるよう人材の育成を図ります。

加曽利貝塚博物館ボランティア

ボランティアガイドを募集し、千葉市におけるボランティア活動の基礎を学ぶとともに、縄文時代全般及び加曽利貝塚などについての専門知識を学ぶための研修を実施します。

郷土博物館ボランティア

博物館ボランティア育成のため、必要な知識の習得を目的とした講座を開催するとともに、定例会等の情報交換の機会を提供します。

地域おはなしボランティア

市が子どもの読書活動の推進を目的に実施する「おはなし会」等の趣旨に賛同し、図書館からの派遣により、絵本の読み聞かせや、わらべうた等の活動を行う「地域おはなしボランティア」を育成します。

【ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施】

ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート

生涯学習ボランティアの活動の場を広げるため、ボランティアとその支援を必要とする団体のマッチングを行います。

【団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成】

指導者養成研修

生涯学習センターでは、地域活動で求められるコミュニケーション能力や、コーディネート力のある人材育成のための各種研修を実施します。公民館では、地域の社会教育・生涯学習・地域交流活動を支援するため、研修や養成講座等を実施し、リーダーやファシリテーターとなる人材の養成・育成を図ります。

【社会教育関係団体の育成】

社会教育関係団体の育成

生涯学習センターや公民館では、地域活動への参加のきっかけづくりにもなっている社会教育関係団体向けの研修を実施するとともに、団体の求めに応じて助言・指導を行います。

②市民の参加・協働による学習成果の活用

【市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供】

市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

生涯学習センターでは、地域で活動する市民団体やＮＰＯ法人等から公募した企画による講座や、施設ボランティアによる各種講座を開催します。

市民自主企画講座の実施

科学館では、市内の高校生が企画運営し、解説までを行う「高校生プラネタリウム」を上映するイベントを年１回、実施します。

加曽利貝塚博物館ボランティア

史跡公園内及び博物館内の来館者への案内、縄文体験の補助などを行います。

郷土博物館ボランティア

一般の来館者及び学校や各種団体等からの要望に応じて、博物館内のガイドを実施します。また、むかしあそびや着用体験の補助やイベント時の受付・場内整理などを行います。

地域おはなしボランティア

市内の学校、保育施設等団体からの要請により、図書館から絵本の読み聞かせやわらべうた等の活動を行う「地域おはなしボランティア」を派遣します。

【生涯学習ボランティアの活動場所の提供】

生涯学習センター内にボランティア活動スペースを提供

生涯学習ボランティアが自ら積極的に活動・情報発信できるよう活動場所となるスペースや「ボランティアセンター登録者紹介講座」を実施します。

【千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充】

モデル校の設置

これまで本市が設置を進めてきた学校支援地域本部の中心的な組織である地域教育協議会に学校運営協議会の機能をあわせもつように発展させます。

【学習成果の発表機会の提供】

まなびフェスタ・ボランティアフェア

生涯学習センターでは、公募団体等による講座・体験教室・展示ステージ発表を行う「まなびフェスタ」、ボランティアセンター登録者を紹介する「ボランティアフェア」を開催します。

公民館文化祭

各公民館で日常的に生涯学習活動を行っているサークル・クラブ等の協議会等が主催する「公民館文化祭」の開催を支援します。

障害者作品展の開催

障害者が自らの障害を乗り越え、完成させた作品を公開展示します。

【地域交流・多世代交流事業の実施】

地域交流・多世代交流事業の実施

人と人とをつなぐ交流の場として、公民館コンサート等の地域交流事業や伝承遊び講座等の多世代交流事業を実施します。

【青少年交流事業の実施】

青少年交流事業の実施

生涯学習センターでは、青少年団体の活動を支援し、青少年の自主的な活動及び多世代交流による健全育成を図るほか、学習成果の発表の場を提供します。

■啓発事業

生涯学習情報誌「ちばまなびの森」を発行し、特集記事、イベント情報等を掲載し、生涯学習を総合的にＰＲする。

・年３回発行（7 月、11 月、3 月）

・公民館、図書館、コミュニティセンター、区役所などにおいて、市民に配布。ホームページでも閲覧可能。

■生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の主体的で創造的な学習活動を支援するため、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供、相談体制の整備・充実など、生涯学習を総合的に推進する事業を展開している。

1　事業の概要

先進的な学習プログラムを実施し、地域から学ぶ実践的な学習講座を展開する。

また、ボランティア活動等を支援するための体験的な学習講座を実施している。

2　施設の利用状況（令和７年度）

(1) 中央図書館･生涯学習センター入館者数 ･･･････････････････ 966,349 人

(2) 駐車場利用台数 ･･･････････････････････････････････････ 176,321 台

(3) 施設利用件数(施設開館日数 347 日･18 施設)･･･････････････････ 13,300 件

3　生涯学習相談件数（令和７年度）･･･････････････････････ 1,355 件

4　視聴覚教育機器・ソフト貸出事業（令和７年度）

(1) 16㎜ 映写機ほか 9 機種 ･･･････････････････････････････････ 373 件

(2) 16㎜ フィルムほか 2 種 ･･･････････････････････････････････ 440 本

(3) 利用相談件数 ･･･ 249 件

5　学習事業（令和７年度）

(1) 指定管理事業

事　業　分　類	実　施　事　業	延受講者数(人)
ちばカレッジ・郷土に関する事業	ちばサイエンス、加曽利貝塚博物館・郷土博物館との連携講座　他	1,855
現代的課題学習	防災教育、医療・健康、福祉、男女共同参画、家庭教育、青少年の健全育成の支援、高齢化社会への対応　他	9,554
指導者の養成	生涯学習指導者研修（基礎・実践)、学校地域支援者研修、公民館職員研修　他	455
学習ボランティア活動の支援	施設ボランティア養成研修（養成基礎）　他	478
ボランティアセンターの運営	ボランティアセンター登録者研修（基礎・実践)、ボランティアフェアの開催　等	1,616
研修等の受入れ	社会教育実習、インターンシップ　他	89
メディア学習講座	公民館出前パソコン講座、子ども向け講座、初級者向け講座、施設ボランティアによる講座　等	3,791

事　業　分　類	実　施　事　業	延受講者(人)
視聴覚事業	16 ミリ映写機操作講習会、名画座、親子アニメ上映会　他	9,675
市民の学習活動への支援	市民自主企画講座	221
学習成果の発表の機会の確保	まなびフェスタの開催	3,670

(2) 自主事業

事　業　分　類	実　施　事　業	延受講者数(人)
学びのきっかけづくり	大学連携講座、生涯学習アカデミーちば、ちばが学べる施設紹介（展示）　他	2,021
市民が集う場づくり	ゴールデンウィークイベント、夏休み特別イベント、新鮮野菜市、コンサート等の開催　他	7,044

6　視聴覚ライブラリー

視聴覚メディア（マルチメディア機器）を活用した効果的な学習・教育活動を推進、奨励するため、小・中学校、公民館、社会教育団体等に対して、視聴覚教材、機材の貸出、16 ミリ映写機操作講習会を実施している。

また、視聴覚教材を計画的に購入し、ライブラリーの充実を図っている。

視聴覚教材・機材保有状況（令和 8 年 4 月現在）

教材	16 ミリ映画フィルム	891 本
	８ミリ映画フィルム	101 本
	ビデオソフト（ＶＨＳ）	1,027 本
	スライド	42 組
	ＤＶＤ	445 本
機材	16 ミリ映写機	5 台
	ＯＨＰ	2 台
	ＯＨＣ	1 台
	スクリーン	8 本
	ビデオプロジェクター	9 台
	スライドプロジェクター	1 台
	ビデオデッキ	3 台
	ＤＶＤデッキ	7 台
	ダブルデッキ	2 台
	暗幕	10 枚
	外部スピーカー	9 台

■青少年教育

南部青少年センター及び各地区の公民館等を拠点として、次代を担う少年少女が、心身ともに健全で創造性豊かに成長することを目的として、各種の青少年教育事業を実施している。（公民館では少年教育事業として実施している。）

○事業一覧（令和７年度）

事　業　名	事業数	開催期間	内　　容	会　場
少年少女科学クラブ	1	6月～3月	基礎工作、生活、学習、安全をテーマとしたアイデア工作等	科学館
チバシティアストロクラブ	1	6月～2月	星や宇宙に親しむクラブ活動	科学館　他
少年教室・講座	470	通年	子どもチャレンジ、子ども科学教室、子ども書初め教室他	南部青少年センター 公民館　他
親子教室・親と子のつどい	3	通年	坂月川親子生き物教室、坂月川ビオトープ教室　他	南部青少年センター 公民館

■成人教育

1　家庭教育学級、成人大学、成人教育講座等（令和７年度）

明日の豊かな市民生活のために、成人を対象とした幅広い学習の場を設けている。

事　業　名	事業数	開催期間	内　　容	会　場
家庭教育学級等	96	通年	それぞれの時期、立場にある親を対象とし、家庭教育の意義、家庭・親のあり方、子どもの発達段階の理解、望ましい子育て等を学習し、家庭教育の振興に資する。	公民館
子育て親育ち講座等 ※文部科学省補助事業	8	7月～3月	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方について考える機会とする。	中学校 小学校 公民館
成人教室、講座等	542	通年	現代的課題に関する講座、ボランティア養成、パソコン講座、郷土史講座、リサイクル講座　英会話入門他	公民館 南部青少年センター
女性教室、講座等	10	通年	女性の健康講座、女声コーラス　他	公民館
高齢者教室、講座等	123	通年	高齢者スマホ教室、認知症予防講座　他	公民館
コンサート、講演会等	131	通年	落語講座、ふれあいコンサート 他	公民館

2　社会教育関係団体･グループ育成

社会教育関係団体・グループの各種活動の充実を図るため、求めに応じて指導助言にあたるとともに育成に努めている。

(1) 社会教育関係団体一覧（令和８年４月１日現在）

区　分	団　　体　　名	団体数	会員数
青年団体	千葉市青年協議会	7	150
女性団体	千葉市女性団体連絡会	6	110
成人団体	千葉市ＰＴＡ連絡協議会	35	13,942
	千葉市ボランティアグループ連絡会	2	21
	公民館クラブ・サークル	1,747	18,476
	千葉ユネスコ協会	1	70

(2) 育成事業一覧（令和７年度）

区　分	事　業　区　分	事業数	内　　容
成人団体	千葉市ＰＴＡ連絡協議会事業	8	ＰＴＡ学級、広報担当者講習会、研究大会、広報コンクール、広報紙発行、各種研修会派遣等
	公民館クラブ･サークル等の連絡会事業	45	公民館文化祭
	公民館クラブ・サークル育成事業	29	クラブサークル研修会　等
	千葉ユネスコ協会事業	5	国際理解、国際交流活動、ユネスコスクール、ＳＤＧｓ授業、寺子屋運動

■南部青少年センター

青少年が、主体的に自らの教養や技能を高めるとともに、学習や文化活動等を通して仲間づくりのできる場や機会の提供に努めており、地域の自治・社会福祉活動の場としても幅広く活用されている。

施設全体の老朽化により、修繕及び維持管理に多額の経費負担を要すること、公民館等においても青少年の健全育成と教養の向上を目的とした事業を行っていることから、令和８年３月17日付けで「千葉市青少年センター設置管理条例を廃止する条例」が市議会で議決され、令和９年３月31日をもって、施設を閉館することとなった。

1　運営方針

(1) 社会の変化や青少年のニーズに応える創意工夫に満ちた事業の企画と実践に努める。

①異年齢集団による活動や異世代の交流活動を支援し、青少年の健全育成を図る。

②青少年・市民等の生涯学習活動のきっかけとなる学習の場を提供する。

③優れた講師の活用とサークル活動の支援と育成を図る。

④青少年育成に係る他機関やＮＰＯ等の市民団体と連携した事業の企画・実践により、事業の質的向上を図る。

⑤青少年の健全な育成を図り、教養の向上に資することを目的に設置された青少年センターとして、施設の特徴を生かした講座を実施する。

⑥社会福祉協議会、自治会、子ども会、ボランティア団体など地域の各種団体との連携を強化し、各組織の活動を支援する。

(2) 学習情報の効果的な提供に努める。

①広報活動の推進と方法の工夫により、積極的な情報発信を図る。

②閉館（令和８年度末）に向けて、周知活動及び利用者の相談活動に努める。
また、掲示物等を通し、南部青少年センターのあゆみを紹介する。

(3) 施設・設備の整備と備品等の有効活用を図る。
①施設・設備の保守及び管理の徹底、迅速適切な修繕により、不具合や事故を防止する。
②閉館に向けて施設、設備を点検するとともに、閉館後、備品等が有効活用できるよう他機関との連携を図る。
③感染症拡大防止に努め、適切に対処する。

(4) 災害時における利用者の安全を第一に、防災計画の強化を図る。
①各種保守点検を確実に実施し、改善が必要な事項には適切に対処する。
②防災計画や災害発生時の対応マニュアルに基づく避難誘導訓練を適切に実施し、災害時における利用者の安全を確保できるようにする。
③避難所運営委員会と連携し、避難所としての機能を高める。

2 事業の概要

事業名	主な内容	実施期間
施設貸出	講習室・録音室・レッスン室・視聴覚室・料理実習室等の貸出し	通年
わくわくカレッジ	青少年・一般を対象とした英会話入門・ヨーガ等の講座	４月～３月の土曜日等
ときめきサタディ	在学青少年を対象とした映画上映・茶道教室等の講座	４月～３月の土曜日等
サマーチャレンジ	小学生を対象とした工作教室	夏休み期間
子育て支援	人権、多様性に関する講座	７月

3 年間利用状況（令和７年度　開館日数292日）

（１）主催事業

	在学青少年対象講座関係	青少年・一般対象講座関係	合計
実施回数	15	14	29
参加人数	177	180	357

（２）貸出事業

	青少年	一般	教育関係	官公署	合計
利用回数	552	3,562	31	135	4,280
利用人数	1,292	6,687	379	1,963	10,321

4 利用方法

(1) 施設貸出
○期　間　通年（但し、月曜日・国民の祝日・年末年始を除く）
○時　間　午前９時から午後９時まで（但し、小・中学生については、午前９時から午後５時まで）
○対　象　市内在住・在勤・在学の青少年及び青少年団体並びに一般
○受　付　Web 又は窓口で、青少年は利用の１か月前から、一般は２週間前から
○利用料　無料

(2) 主催事業
○市政だより、ホームページ、学校・関係機関等へ「ちらし」の配付、ポスター掲示等により募集する。
○申し込み受付は、電話で行い、受講者は、先着順または抽選により決定する。
○受講料は無料。但し、教材費相当額を参加者負担とする。

■公 民 館

「ゆとりと活力ある都市づくり」を目指す本市では、社会教育を含めた生涯学習の拠点施設として公民館を設置し、地域住民の多様化する学習ニーズに対応した学習機会を提供している。

生活文化の向上や住みよい地域社会づくりを推進するために次の施策を展開する。

①地域住民の連帯感や自治意識を醸成する。

②地域住民の学習要求や生活課題の解決を援助する。

1 公民館の設置概要

原則として１中学校区に１館を設置する方針で整備している。

2 事業の概要

公民館は、市民のだれもが、いつでも、どこでも生涯にわたり学べる学習機会を提供している。

ここでは、居住区の特性や社会教育課題の発見に努め、地域連帯の輪を広げるとともに、人と人との結びつきを強めていく各種事業を企画・実施している。

3 事業の内容

(1) 学習相談（令和７年度　1,396 件）

(2) 講座等の開催

①主催事業（令和７年度　1,566 事業）

家庭教育　96 事業、延べ受講者数　4,278 人　　少年教育　463 事業、延べ受講者数　8,215 人

成人教育　559 事業、延べ受講者数　10,163 人　　女性教育　10 事業、延べ受講者数　141 人

高齢者教育 123 事業、延べ受講者数　2,843 人　　その他　286 事業、延べ受講者数　16,871 人

②自主事業（令和７年度　3 事業）

展覧会のレクチャーを聞こう(4 回)

埋蔵文化財写真パネル展（6 回）

公民館でやさい市の開催（17 回）

(3) 公民館クラブ・サークル、団体の育成

公民館の学級・講座から自主的に結成したり、地域の有志で組織したりしたクラブ・サークル等が公民館を拠点に活動している。それらのクラブ・サークル等の自主的活動や文化祭開催等の援助をはじめ、地域の子ども会やクラブ・サークル等の指導者講習会を開催し、育成に努めている。

(4) 情報の提供

地域住民の自主的な社会教育活動を促進するため、市政だよりへの掲載や公民館だより等を発行し、学習機会や学習の場などに関する情報を提供している。

4 施設の利用状況

(1) 年度別公民館利用状況（小数点以下四捨五入）

年　度	年間利用者人数(人)	日平均利用者人数(人)	利用回数(回)	日平均利用回数(回)
２年度	449,013	1,448	60,255	194
３年度	634,624	1,768	86,565	241
４年度	751,545	2,093	101,411	282
５年度	817,882	2,293	106,900	300
６年度	843,851	2,406	109,939	311
７年度	883,683	2,502	114,436	322

(2) 公民館利用状況（令和７年度　開館日 359 日※）

（小数点以下四捨五入）

館　名	主催事業等参加者（人）	利用人数（人）	日平均（人）	延利用回数(回)
松ケ丘	1,276	21,979	61	4,403
生浜	2,727	15,540	43	2,114
新宿	2,208	32,610	91	4,176
宮崎	3,396	26,074	73	2,805
葛城	591	5,913	16	1,490
末広	1,313	10,710	30	2,181
椿森	986	8,422	23	1,564
川戸	1,152	11,993	33	1,731
星久喜	1,740	11,457	32	1,451
幕張	1,444	49,560	138	5,329
花園	3,006	30,073	84	3,437
犢橋	1,288	11,791	33	2,049
検見川	2,368	19,087	53	2,857
花見川	1,318	15,886	44	2,517
さつきが丘	1,054	15,527	43	2,378
こてはし台	2,456	19,609	55	2,350
長作	1,336	9,956	28	1,697
朝日ケ丘	611	18,475	51	2,071
幕張本郷	1,457	19,444	54	2,122
小中台	5,536	39,557	110	4,249
黒砂	664	16,120	69	1,897
轟	4,178	31,637	105	2,954
稲毛	607	18,966	53	2,432
千草台	490	11,941	33	1,625
草野	963	12,734	35	1,674
山王	570	11,786	33	2,031
都賀	2,206	16,026	45	1,410
緑が丘	1,218	11,136	31	1,455
千城台	827	30,426	85	4,242
更科	381	12,481	35	1,644
白井	513	13,000	36	1,910
加曽利	738	8,642	24	1,344
大宮	750	13,005	36	1,322
みつわ台	2,997	24,577	68	2,689
若松	834	11,066	31	2,283
桜木	623	11,959	33	1,741
誉田	994	29,453	82	34,511
椎名	1,152	15,246	43	2,044
土気	1,200	21,861	61	2,109
越智	1,152	15,246	43	2,044
おゆみ野	3,583	33,987	95	4,455
稲浜	1,191	15,690	44	2,195
幕張西	3,771	22,524	63	3,310
磯辺	699	11,452	32	1,929
幸町	1,994	17,326	48	1,934
高浜	2,201	16,454	46	2,043
打瀬	2,357	42,210	118	3,216
合　計	74,691	883,683	2,502	114,436

※開館日には、終日避難所開設を行った日を含んでいる。

※黒砂公民館、轟公民館は修繕工事のための休館あり。

5　公民館図書室資料の整備状況

（令和７年度）

館　名	蔵書(冊)	雑誌(誌)	新聞(紙)	蔵書中 児童書数(冊)
生浜	14,538	8	1	5,925
幕張	16,053	9	1	6,998
検見川	15,038	8	1	6,831
さつきが丘	15,411	4	1	5,456
長作	15,435	7	1	6,313
朝日ケ丘	15,715	6	1	5,277
千草台	17,830	3	1	4,376
草野	18,393	5	1	6,771
山王	16,698	6	1	5,784
都賀	16,520	4	1	6,695
緑が丘	13,489	6	1	4,630
更科	14,911	5	1	6,474
大宮	17,962	6	1	5,394
みつわ台	17,135	8	1	6,291
若松	17,889	6	1	7,317
桜木	18,669	6	1	7,650
誉田	25,329	6	1	9,722
越智	15,841	7	1	5,367
幕張西	17,526	9	1	6,512
磯辺	14,750	6	1	7,112
幸町	36,144	6	1	12,256
合　計	371,276	131	21	139,151

6　公民館図書室の図書貸出状況、開館日数

（令和７年度）

館　名	図書			開館日数（日）
	一般	児童	合計	
生浜	20,501	16,608	37,109	343
幕張	42,698	29,758	72,456	343
検見川	23,096	20,540	43,636	343
さつきが丘	24,177	7,245	31,422	343
長作	8,554	3,536	12,090	343
朝日ケ丘	30,291	9,879	40,170	343
千草台	20,559	7,991	28,550	343
草野	20,495	6,413	26,908	343
山王	21,522	11,768	33,290	343
都賀	20,862	19,669	40,531	343
緑が丘	19,109	7,832	26,941	343
更科	3,240	1,757	4,997	343
大宮	10,267	3,230	13,497	343
みつわ台	44,279	24,052	68,331	343
若松	18,028	16,614	34,642	343
桜木	14,606	11,448	26,054	343
誉田	16,023	19,485	35,508	343
越智	11,263	8,997	20,260	343
幕張西	38,060	21,439	59,499	343
磯辺	16,967	12,569	29,536	343
幸町	30,537	13,055	43,592	343
合　計	455,134	273,885	729,019	

■図 書 館

1 図書館の概要

図書館は昭和 47 年の北部図書館（現稲毛図書館）の開館に始まる。現在、中央図書館を中核とし、地区図書館６館、平成 29 年３月に開館した「みずほハスの花図書館」を加えた分館８館及び公民館図書室 21 室を設置し、移動図書館と併せて市内全域に図書館サービスを行っている。

＜図書館の特色＞

①だれもが、いつでも、どこでも気軽に利用できるように市内に 15 の図書館と 21 の公民館図書室を設置し、全てをオンラインで結び、貸出・返却等の業務のほか、資料情報の提供も行っている。
また、市内の図書館間（公民館図書室を含む）にブックメールカーを週６日運行し、市内図書館の所蔵資料の共有化と有効利用を図り、市民への迅速な資料の提供に努めている。

②インターネットによる所蔵資料の蔵書検索サービス等を行い、幅広い情報提供に努めるとともに、平成 19 年４月よりインターネットを通した予約サービスを開始した。

③市民の高度なレファレンスに応えるため、中央図書館を核として調査・研究機能の充実に努めている。平成 19 年４月よりインターネットによるレファレンスサービスを開始した。

④市民の多岐多様なニーズに応えるため、中央図書館を核として、それぞれの図書館の機能、役割に沿った資料の体系的な収集、保存を行っている。

⑤図書館の利用に障害のある方へのサービスとして、対面音訳、自宅配本や郵送貸出等のサービスの充実に努めている。

⑥平成 16 年３月に第１次「千葉市子ども読書活動推進計画」、その後概ね５年ごとに第２次計画、第３次計画、第４次計画を策定。令和８年４月には第５次計画を新たに策定し、より一層の子どもの読書活動の推進を図っている。

⑦図書館が地域における「知の拠点」として、豊かな市民生活や本市の発展に貢献できるよう、実現したい図書館の未来像を描き、逆算する形で取り組むべき施策を示す指針として、令和２年３月に「千葉市図書館ビジョン 2040」を策定。

⑧郷土資料のデジタル化事業により、平成 24 年度に広報映画など 118 本の映像資料をデジタル化し、平成 25 年度は、市民フォトちば全 150 冊と写真資料約３万枚をデジタル化した。また、平成 26 年３月には、映像資料（50 点）の貸出、図書館ホームページでの写真資料（100 点）の公開を開始した。

⑨地域情報のデジタル化の推進により、デジタルアーカイブシステムを構築し、令和３年３月に千葉市史通史編第１巻、令和４年２月に第２巻、令和５年３月に第３巻をデジタル化し、インターネット上に公開した。

⑩地域で活躍している市民の隠れたエピソードや失われつつある記憶といった「千葉市民の知」を発掘・記録し、「千葉市オーラルヒストリー」として発信している。

⑪令和３(2021)年７月より、図書館に来館することなく読書が可能となる、電子書籍サービスを開始し、令和６(2024)年４月には、学校の教育活動の支援を目的に、１人１台端末を活用した電子書籍サービスを市立小・中・特別支援学校に向けて開始した。

⑫令和５(2023)年 10 月より、中央図書館がオンラインデータベースを導入した。

2 図書館資料の整備状況（令和７年度）

館名	図書			視聴覚資料					雑誌	新聞	紙芝居
	一般	児童	合計	CD	カセット	ビデオ	DVD	ﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾑ			
	冊	冊	冊	点	点	点	点	点	誌	紙	点
中央図書館	892,706	139,126	1,031,832	6,765	16	3	2,817	1,228	597	104	1,330
移動図書館	17,023	10,360	27,383	－	－	－	－	－	6	－	－
団体貸出	7,835	43,915	51,750	－	－	－	－	－	－	－	66
みずほハスの花図書館	19,820	8,097	27,917	－	－	－	－	－	29	－	30
計	937,384	201,498	1,138,882	6,765	16	3	2,817	1,228	632	104	1,426
みやこ図書館	82,159	29,298	111,457	2,101	690	49	99	－	90	10	800
白旗分館	42,418	16,193	58,611	－	－	－	1	－	35	6	514
計	124,577	45,491	170,068	2,101	690	49	100	0	125	16	1,314
花見川図書館	46,348	12,631	58,979	2,106	3	－	22	－	106	9	381
花見川団地分館	35,750	15,057	50,807	－	－	－	1	－	48	5	179
計	82,098	27,688	109,786	2,106	3	－	23	0	154	14	560
稲毛図書館	101,627	29,957	131,584	2,495	422	65	23	0	105	10	322
若葉図書館	69,242	18,189	87,613	1,958	260	52	12	－	92	11	380
西都賀分館	45,483	19,019	64,502	－	－	－	2	－	47	7	164
泉分館	31,861	10,615	42,476	－	－	2	3	－	34	5	381
計	146,768	47,823	194,591	1,958	260	54	17	0	173	23	925

館　名	図　書			視　聴　覚　資　料					雑誌	新聞	紙芝居
	一　般	児　童	合　計	ＣＤ	カセット	ビデオ	ＤＶＤ	ﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾑ			
美浜図書館	79,533	25,951	105,484	3,597	－	－	9	－	94	10	658
打瀬分館	41,502	17,669	59,171	－	－	－	1	－	68	10	427
計	121,035	43,620	164,655	3,597	0	0	10	0	162	20	1,085
緑図書館	98,700	30,777	129,477	2,891	161	49	10	－	137	9	629
あすみが丘分館	44,691	19,297	63,988	3	－	1	1	－	35	7	582
土気図書室	10,396	6,076	16,472	－	－	－	－	－	10	－	188
計	153,787	56,150	209,937	2,894	161	50	11	0	182	16	1,399
合　計	1,667,276	452,277	2,119,503	21,898	1,552	221	3,001	1,228	1,533	203	7,031

3　図書・視聴覚資料の貸出状況、開館日数（令和７年度）

館　名	図　書			視　聴　覚　資　料				開館日数
	一　般	児　童	合　計	Ｃ Ｄ	カセット	ビデオ	ＤＶＤ	
	冊	冊	冊	点	点	点	点	日
中央図書館	499,699	292,598	792,297	18,897	2	－	11,617	292
移動図書館	21,438	10,238	31,676	－	－	－	－	229
団体貸出	1	12,208	12,209	－	－	－	－	226
みずほハスの花図書館	86,056	53,575	139,631	661	1	1	129	329
計	607,194	368,619	975,813	19,558	3	1	11,746	
みやこ図書館	97,408	46,675	144,083	3,479	13	－	210	296
白旗分館	67,983	41,624	109,607	1,268	11	1	531	280
計	165,391	88,299	253,690	4,747	24	1	741	
花見川図書館	52,349	16,856	69,205	2,302	4	－	67	296
花見川団地分館	53,060	14,291	67,351	1,335	－	－	168	280
計	105,409	31,147	136,556	3,637	4	0	235	
稲毛図書館	182,184	116,581	298,765	5,370	25	0	561	296
若葉図書館	76,377	29,066	105,443	2,547	3	－	157	296
西都賀分館	46,977	21,128	68,105	512	－	－	149	280
泉分館	14,200	5,523	19,723	175	－	－	3	280
計	137,554	55,717	193,271	3,234	3	0	309	
緑図書館	157,953	137,683	295,636	5,183	5	－	428	296
あすみが丘分館	84,650	46,666	131,316	2,461	202	－	610	280
土気図書室	4,902	4,368	9,270	86	1	－	22	141
計	247,505	188,717	436,222	7,730	208	0	1,060	
美浜図書館	232,027	115,068	347,095	7,911	28	－	814	292
打瀬分館	128,659	107,196	235,855	2,016	3	－	324	280
計	360,686	222,264	582,950	9,927	31	0	1,138	
合　計	1,805,923	1,071,344	2,877,267	54,203	298	2	15,790	

4　千葉市図書館情報ネットワーク協議会

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、市内の公立図書館、大学図書館、研究機関等の図書室などが、館種を越えた相互の協力・連携を通じて、情報提供機能を強固にし、所属する職員の能力向上と図書館サービスの向上を図ることを目的として平成６年１月に設立された。

令和６年 11 月、Library of the year2024 において、「30 年にわたる館種を超えた図書館ネットワークの構築と発展」が評価され、「ライブラリアンシップ賞」を受賞した。

令和７年度の加盟館は 25 館となっている。

総会、理事会、年２回の研修会及び機関紙の発行等の活動を行っている。

■文 化 財

郷土の歴史・文化への理解を深め、個性豊かな地域文化をはぐくむために、文化財の保存と活用の施策を進める。

≪文化財の調査研究≫

○文化財の実態把握と基礎調査の推進　○文化財台帳の整備

≪文化財の保護≫

○主要な文化財の指定・登録　○文化財の保全と管理の充実　○埋蔵文化財保護のための助成と指導

○史跡の公有化と環境整備の推進　○文化財保護体制の強化

≪文化財の公開と活用≫

○資料の公開・展示・収集・保管の充実、普及活動の拡充

・埋蔵文化財調査センター …… 埋蔵文化財

・加曽利貝塚博物館 …… 縄文貝塚資料

・郷土博物館 …… 歴史・民俗・美術工芸

1　文化財の保護と周知

市内に所在する史跡や建造物などの文化財について、関係諸機関等と協力して保護と周知に努め、郷土の文化財に対する市民の理解と愛護の心を培い、郷土意識の高揚を図る。

また、関係部局・機関との連携のもとに、市域に所在する埋蔵文化財を適切に保護するため、普及啓発を行う。

2　文化財の指定・登録

市内に所在する様々な文化財の実態把握に努め、市指定文化財の指定および市地域文化財の登録に向けた調査・検討を行う。

3　文化財の管理

○指定・登録文化財の管理

市内に所在する指定・登録文化財を現状の姿で永く後世に伝えるために、その実態を把握し、管理及び保存・整備についての助成を行うとともに、適切な指導を行う。

○史跡等の管理

公有化して保存されている遺跡について、雑草の除去や樹木伐採等を定期的に行い、景観および安全を保持するとともに、将来の整備・活用に向けて良好に保全する。

4　特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

○史跡の整備と活用

平成 29 年 10 月 13 日、我が国文化の象徴として、加曽利貝塚が国の特別史跡に指定された。縄文時代としては４例目、貝塚としては初めてであり、全国から注目されている。

この機会を活かし、加曽利貝塚の魅力や重要性を多くの方に知ってもらうため、平成 31 年２月に特別史跡加曽利貝塚グランドデザインを策定した。引き続き縄文貝塚文化の研究と加曽利貝塚の史跡整備を進め、加曽利貝塚でしかできない縄文体験やイベントを実施していく。

○新博物館の整備

本市は、加曽利貝塚の史跡内を縄文時代の景観に復元し、特別史跡にふさわしい魅力ある場とするため、史跡内に位置する現状の博物館を史跡外へ移転することとした。

今後は、令和４年２月に策定した「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」に基づき、縄文文化とＳＤＧｓを学ぶことができる博物館を目指して、市民や団体、大学、民間事業者など多様な主体と対話や交流を含めながら、整備と活用を進めていく。

5　埋蔵文化財の保護と事前協議（令和７年度）

開発事業に先立って、埋蔵文化財保護のために事業者と綿密に事前協議を行い、開発事業と埋蔵文化財の円滑な調整を図る。

(1) 埋蔵文化財の所在の協議依頼‥‥‥‥‥‥‥‥ 31 件
（内訳）埋蔵文化財有り‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 12 件
埋蔵文化財無し‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 19 件

(2) 埋蔵文化財発掘の届出等

ア　発掘調査の届出・報告　　26 件

調査主体者	確認調査	確認・本調査	本調査	計
公益財団法人千葉市教育振興財団	0	0	2	2
民間調査組織	0	0	3	3
千葉市埋蔵文化財調査センター	12	1	8	21
合計	12	1	13	26

イ　土木工事等の届出・通知　　320 件

届出・通知者	発掘調査	工事立会	慎重工事	計
民間	30	64	185	279
公共	2	24	15	41
合計	32	88	200	320

6　郷土芸能保護事業の充実

市内の郷土芸能保存団体が実施する神楽・囃子・獅子舞等の伝承活動に補助金を交付し、郷土芸能の保存・振興を図っている。

＜千葉市郷土芸能保存協会加盟団体＞

郷　土　芸　能　名	保　存　団　体　名	継　承　地	指定・登録
浅間神社の神楽	稲毛浅間神社神楽連	稲毛区稲毛	県指定
作草部神社の神楽	作草部神社神楽連	稲毛区作草部	
登戸の神楽囃子	登渡神社登戸神楽囃子連	中央区登戸	市登録
千葉神社の神楽	千葉神社神楽連	中央区院内	
八劔神社の神楽	八劔神社神楽連	中央区南生実町	市指定
大六天神社の囃子	貝塚大六天神社囃子連	若葉区貝塚町	
浜野の祭囃子	浜野祭ばやし保存会(休会中)	中央区浜野町	
矢作の囃子	矢作囃子保存会	中央区矢作町	
諏訪神社の囃子	都町諏訪神社囃子会	中央区都町	
検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町	市登録

■埋蔵文化財調査センター

発掘調査によって収集された多くの出土品や記録物の適切な保存と活用、埋蔵文化財の調査研究等を推進している。

なお、発掘調査・文化財普及事業の一部については、公益財団法人千葉市教育振興財団に委託している。

市内各所の開発などに伴う埋蔵文化財発掘調査による出土品及び図面・写真等の記録はセンターに納められ、保管される。保管資料については修復し台帳に登録して、教育・普及活動、市民の学習活動に活用できるよう保管体制の整備を進めている。

1　収蔵保管

○新収蔵資料

遺　跡　名	場　所	時　代　／　種　別	資　料
院内遺跡	中央区中央	古、奈、平、中、近／貝塚、塚、寺院跡	縄文土器、平安時代土師器・須恵器・瓦、中世土器・石製品・石塔、近世土器・陶器・磁器・瓦・古銭、近代陶器・磁器・石塔・瓦・古銭
大須賀山塚	花見川区幕張町	奈、平、中／塚、城館跡	縄文土器、奈良・平安時代土師器、近世古銭
大森中台遺跡	中央区大森町	旧、縄、古、奈、平、中、近／包蔵地、集落跡	旧石器時代石器、古墳時代土師器・須恵器・土製品・石製品・鉄製品・銅製品、奈良・平安時代土師器・須恵器・鉄製品
柏崎台城跡	中央区南生実町	中／城館跡	古墳時代土師器
加曽利貝塚	若葉区桜木	縄、古／包蔵地	縄文土器・石器・土製品・動物遺体
兼塚古墳群・種ケ谷津遺跡	中央区生実町	旧、縄、古、奈、平、中、近／包蔵地	縄文土器・石器、古墳時代土師器・須恵器、奈良時代土師器・須恵器、近世陶磁器
枯木台南遺跡	緑区小食土町	奈、平／包蔵地	奈良・平安時代土師器・須恵器
亀甲北遺跡	中央区南生実町	縄、古／古墳、包蔵地	縄文土器，古墳時代土師器・須恵器
五味ノ木遺跡	稲毛区萩台町	旧、縄、古／包蔵地、集落跡	縄文土器・石器、古墳時代土師器・石製品、中世陶磁器、近世陶磁器
小山遺跡・萩台前田遺跡	稲毛区萩台町	縄、中近世／包蔵地、城館跡、貝塚	縄文土器，中世陶磁器・土器・銭貨
笹目沢遺跡	中央区生実町	旧、縄、古、奈、平、中、近／包蔵地、貝塚、都城跡	縄文土器、古墳時代土師器、奈良・平安時代土師器
下田遺跡	稲毛区園生町	縄、古、奈、平／集落跡	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器、近世泥めんこ
蘇我野藩陣屋跡	中央区蘇我	近代／陣屋跡	なし
染谷津遺跡	中央区宮崎町	縄、古、平／集落跡	縄文土器、奈良・平安時代土師器
取林遺跡	中央区星久喜町	古／包蔵地	古墳時代土師器
並木遺跡	稲毛区作草部町	縄、古、奈、平／包蔵地・集落跡	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器、奈良・平安時代土師器・須恵器・土製品・鉄製品、中世陶磁器・鉄製品、近世陶磁器・鉄製品

遺　跡　名	場　所	時　代　／　種　別	資　料
西花遺跡	中央区大森町	縄、弥、古、奈、平、中、近／集落跡	古墳時代土師器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器
東海道遺跡	稲毛区宮野木町	古、平／貝塚	古墳時代土師器・須恵器
松原東遺跡	中央区南生実町	縄、古、平／集落跡	縄文土器、弥生土器、古墳時代石製品・土師器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中世陶器
味噌草野遺跡	若葉区坂月町	縄、平／集落跡	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器・施釉陶器・鉄製品、近世古銭・銅製品
森台貝塚	中央区南生実町	縄、古、平／貝塚	縄文土器、古墳時代土師器・土製品・石製品・鉄製品
柳沢遺跡	若葉区小倉町	縄／包蔵地、集落跡	縄文土器・石器

※旧＝旧石器時代、縄=縄文時代、弥＝弥生時代、古＝古墳時代、奈＝奈良時代、平＝平安時代、中＝中世、近＝近世

2　文化財普及

(1) 常設展示（館内）

埋蔵文化財の保護と活用、センターの業務内容についてパネルによって解説するとともに、千葉市の原始・古代から歴史時代に至る移り変わりを、これまでの発掘調査で発見された遺構や出土遺物、複製品・模型・解説パネルなどで、よりわかりやすく、視覚的に学習できるようにしている。

(2) 速報展示（館内）

発掘調査等で発見された遺物・遺構の中で、歴史的価値の高いもの、稀少なもの、話題性に富むものなどを速やかに展示し、市民の学習に供するとともに、広く一般に公開する。

(3) 特別展

埋蔵文化財を通して千葉市の歴史を理解してもらうため、収蔵している埋蔵文化財を市内の施設で期間を決めて展示・公開している。

令和８年度は、「『国境地帯』の古墳たち」と題し、令和９年１月１６日から令和９年３月７日にかけて、埋蔵文化財調査センターで、出土品やパネル等の展示を行う。

(4) ミニ企画展

公共施設等の依頼により各施設などで、パネル・埋蔵文化財等を展示・公開し、千葉市の歴史をわかりやすく説明する。

(5) 出前授業

主に歴史教育の一環として小学校を中心に、滑石を使用した勾玉作り、火おこし、組紐作りや本物の土器・石器等に触れる体験を行うとともに、画像データなどを活用して埋蔵文化財の調査方法や学校周辺の遺跡の歴史に関する講座を実施している。

(6) 講師派遣

生涯学習センター、公民館、博物館等の施設での事業やその他各種団体による講演会等に講師を派遣している。

(7) 資料貸出

小学校を対象に古墳時代の土器セット（甕・甑・杯など１０点）の貸出を行っている。

(8) 千葉市遺跡発表会

市内で実施した発掘調査の最新の成果を広く公開することを目的に開催している。

令和８年度は、令和８年９月２６日に市内の遺跡に関する発表と加曽利貝塚発掘調査速報、講演を行う。

3　埋蔵文化財調査（令和７年度）

市内で現在周知されている遺跡は、1,340 か所である。開発事業に先立ち、事業者の協力を得て、発掘調査を行い、遺物の収集・記録による保存を行っており、調査によって出土した遺物や記録類については整理をし、報告書として

刊行している。

令和７年度は、特別史跡加曽利貝塚の内容確認を目的とした発掘調査及び整理作業を実施した。そのほか、市事業に伴う３遺跡の確認調査や本調査、各種開発事業に伴う 18 遺跡の確認調査、８遺跡の本調査、公共事業に伴う２遺跡の整理・報告書刊行、４遺跡の再整理を実施した。

＜令和７年度埋蔵文化財調査＞

※旧＝旧石器時代、縄＝縄文時代、弥＝弥生時代、古＝古墳時代、奈＝奈良時代、平＝平安時代、中＝中世、近＝近世

(1)加曽利貝塚

（国庫補助金【文化庁】を受けて実施する特別史跡加曽利貝塚の内容確認を目的とした発掘調査及び整理作業）

遺跡名	場所	発掘面積	備考
加曽利貝塚	若葉区桜木	500 ㎡（内容確認）	縄／貝塚
加曽利貝塚	若葉区桜木	1,924 ㎡（内容確認）	令和２～令和４年度発掘調査の整理作業

(2) 市事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査

遺跡名	場所	発掘面積	備考
院内遺跡	中央区中央１丁目	120 ㎡（確認調査） 809.1 ㎡（本調査）	古、奈、平、中、近／貝塚、塚、寺院跡
枯木台南遺跡	緑区小食土町	250 ㎡（本調査）	奈、平／包蔵地
柳沢遺跡	若葉区小倉町	1,968.5 ㎡（本調査）	縄／包蔵地、集落跡

(3) 市内遺跡：国庫補助金【文化庁】を受けて実施する民間開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業

遺跡名	場所	発掘面積	備考
亀甲北遺跡	中央区南生実町	103 ㎡（本調査）	古／古墳・包蔵地
亀甲北遺跡	中央区南生実町	177 ㎡（本調査）	縄、古／古墳・包蔵地
亀甲北遺跡	中央区南生実町	131.86 ㎡（本調査）	縄、古／古墳・包蔵地
取林遺跡	中央区星久喜町	29 ㎡（確認調査）	古／包蔵地
小山遺跡・萩台前田遺跡	稲毛区萩台町	166 ㎡（確認調査）	縄、中・近／包蔵地・城館跡・貝塚
西花遺跡	中央区大森町	150 ㎡（確認調査）	縄、弥、古、奈、平、／集落跡
兼塚古墳群・種ヶ谷津遺跡	中央区生実町	1,078 ㎡（確認調査）	旧、縄、古、奈、平、中、近／包蔵地

(4) 開発事業に係る埋蔵文化財の発掘調査

遺跡名	場所	発掘面積	備考
味噌草野遺跡	若葉区坂月町	185.55 ㎡（確認調査）	縄、平／集落跡
味噌草野遺跡	若葉区坂月町	449 ㎡（本調査）	縄、平／集落跡
並木遺跡	稲毛区作草部町	159.31 ㎡（確認調査）	古、奈、平／包蔵地
並木遺跡	稲毛区作草部町	1,657.86 ㎡（本調査）	縄、古、奈、平／包蔵地・集落跡
森台貝塚	中央区南生実町	253 ㎡（本調査）	縄、古、平／貝塚
松原遺跡	中央区南生実町	1,180 ㎡（確認調査）	縄、古、平／集落跡

遺跡名	場所	発掘面積	備考
松原遺跡	中央区南生実町	320 ㎡（本調査）	縄、古、平／集落跡
大森中台遺跡	中央区大森町	3,218 ㎡（本調査）	旧、縄、古、奈、平、中、近／包蔵地・集落跡
五味ノ木遺跡	稲毛区萩台町	112 ㎡（確認調査） 934.06 ㎡（本調査）	旧、縄、古／包蔵地・集落跡
笹目沢遺跡	中央区生実町	470.13 ㎡（確認調査）	旧、縄、古、奈、平、中、近／包蔵地・貝塚・都城跡
宮ノ前遺跡・上和田遺跡	若葉区大宮町	442 ㎡（確認調査）	縄、古、平／包蔵地
下田遺跡	稲毛区園生町	120 ㎡（確認調査）	縄、古、奈、平／集落跡
蘇我野藩陣屋跡	中央区蘇我3丁目	34 ㎡（確認調査）	近／陣屋跡
大須賀山塚	花見川区幕張町	90 ㎡（確認調査）	奈、平、中／塚・城館跡
染谷津遺跡	中央区宮崎町	20 ㎡（確認調査）	縄、古、平／集落跡
東海道遺跡	稲毛区宮野木町	46 ㎡（確認調査）	古、平／貝塚
西花遺跡	中央区大森町	167.34 ㎡（確認調査）	古、奈、平、中、近／集落跡
加曽利貝塚	若葉区桜木3丁目	120 ㎡（確認調査） 53 ㎡（本調査）	縄、古／包蔵地
柏崎台城跡	中央区生実町	27 ㎡（確認調査）	中／城館跡

(5) 整理（公共事業）

遺跡名	場所	調査年度	備考
下広尾遺跡	若葉区大井戸町	平成11、12、15年度	縄、平／包蔵地
矢作貝塚	中央区矢作町	令和6年度	縄、古／貝塚

(6) 再整理（国庫補助金【文化庁】を受けて実施する学校等での利活用を目的とした出土資料の再整理）

遺跡名	場所	調査年度	備考
海老遺跡	若葉区東寺山町	平成4、7、8年度	縄、古、奈、平、中、近／包蔵地、集落跡

■文化財一覧

1　指定・登録文化財件数

※1(　)は特別史跡の件数　※2(　)は特別天然記念物の件数

種類 区分	有形文化財							無形文化財	民俗文化財		記念物			伝統的建造物群	計
	建造物	彫刻	工芸品	絵画	書跡古文書典籍等	考古資料	歴史資料		有形	無形	史跡	名勝	天然記念物		
国(指定)		1	3	1							5(1) ※1		4(1) ※2		14(2)
国(登録)	8								1						9
県(指定)	3	3	4	7	3	2		3	1	2	6		3		37
市(指定)	6	16	3		2	9	1		1	1	12	1			52
市(地域)	1				2		1			4	2				10
計	18	20	10	8	7	11	2	3	3	7	25(1)	1	7(1)		122(2)

2　国指定文化財　14 件

種別		名称	所在地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
記念物	特別史跡	加曽利貝塚	若葉区桜木 8 丁目ほか	千葉市ほか	H29	公開
	史跡	月ノ木貝塚	中央区仁戸名町 289-1 ほか	千葉市ほか	S52	公開
		荒屋敷貝塚	若葉区貝塚町 726-1 ほか	千葉市ほか	S53	公開
		犢橋貝塚	花見川区さつきが丘 1-18	千葉市	S56	公開
		花輪貝塚	若葉区加曽利町	法人	H18	非公開
	特別天然記念物	タンチョウ	若葉区源町 280 （千葉市動物公園内）	千葉市	S10	公開
	天然記念物	オジロワシ	若葉区源町 280 （千葉市動物公園内）	千葉市	S44	公開
		ミヤコタナゴ	中央区青葉町 955-2 （千葉県立中央博物館内）	千葉県	S49	公開
		トゲネズミ	若葉区源町 280 （千葉市動物公園内）	千葉市	S47	公開
有形文化財	工芸品	刀　無銘吉岡一文字		個人	S29	非公開
		大薙刀　無銘伝法城寺	中央区青葉町 955-2 （千葉県立中央博物館内）	千葉県	S34	非公開
		刀　金象嵌銘貞次磨上之本阿（花押）（名物大青江）	佐倉市裏新町 1 番地 4 （塚本美術館）	（公財）塚本美術館	S31	非公開
	彫刻	木造釈迦如来坐像		個人	M34	非公開
	絵画	紙本墨画烏鷺図 長谷川等伯筆　六曲屏風		個人	S44	非公開

3　国登録文化財　9 件

種　別		名　　称	所　在　地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
有形文化財	建造物	千葉市民ギャラリー・いなげ（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）	稲毛区稲毛 1-8-35	千葉市	H9	公　開
		千葉トヨペット本社（旧勧業銀行本店）	美浜区稲毛海岸 4-5-1	千葉トヨペット株式会社	H9	公　開
		千葉県水道局千葉高架水槽	中央区矢作町 670	千葉県水道局	H19	非公開
		千葉県水道局千葉分場 1 号配水池	中央区矢作町 670	千葉県水道局	H29	非公開
		大巌寺本堂	中央区大巌寺町 180-1	大巌寺	H23	公　開
		大巌寺書院	中央区大巌寺町 180-1	大巌寺	H23	公　開
		宮本家住宅主屋		個人	R6	非公開
		千葉県立美術館展示棟	中央区中央港 1-10 - 1	千葉県	R7	公　開
民俗文化財	有形	利根川中下流域の川船及び関連用具	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館）	千葉県	R6	公　開

4　県指定文化財　37 件

種　　別		名　　称	所　在　地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
有形文化財	建造物	千葉教会教会堂	中央区市場町 9-20	日本キリスト教団千葉教会	S50	非公開
		旧四関家住宅	若葉区御殿町 2538-11 ほか	千葉市	S52	非公開
		旧鉄道聯隊材料廠煉瓦建築	稲毛区轟町 3-59-6	千葉経済学園	S63	条件付き公開
	彫刻	木造十一面観音立像	花見川区花島町 60	天福寺	S45	非公開
		木造伝七仏薬師坐像	緑区平山町 271	東光院	S59	非公開
		木造薬師如来坐像	緑区富岡町 209	長徳寺	S59	非公開
	工芸品	半円方格帯神獣鏡	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館内）	千葉県	S30	非公開
		梵鐘（宝徳元年在銘）	緑区富岡町 209	長徳寺	S49	非公開
		鋳銅鰐口（延文六年在銘）	若葉区中野町 699-1	本城寺	S57	非公開
		金銅透彫六角釣灯籠	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	栄福寺	S60	非公開
	絵画	紙本著色千葉妙見大縁起絵巻	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	栄福寺	H5	非公開
		藁屋根	中央区中央港 1-10-1（千葉県立美術館内）	千葉県	H30	特定日公開
		漁婦	中央区中央港 1-10-1（千葉県立美術館内）	千葉県	H30	特定日公開
		小丹波村	中央区中央港 1-10-1（千葉県立美術館内）	千葉県	R1	特定日公開
		木華開耶媛	中央区中央港 1-10-1（千葉県立美術館内）	千葉県	R1	特定日公開

種　別		名　称	所　在　地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
有形文化財	絵画	絹本著色両界曼荼羅	中央区亥鼻1-6-1(千葉市立郷土博物館内)	金光院	R1	非公開
		和気清麿（石井林響筆）	中央区中央港 1-10-1（千葉県立美術館内）	千葉県	R4	特定日公開
	書跡	石井雙石篆刻資料	中央区中央港 1-10-1（千葉県立美術館内）	千葉県	H27	特定日公開
	典籍	房総数学文庫	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館内）	千葉県	S43	非公開
	古文書	覚性御房御返事	中央区長洲 1-33-3	立正安国会	S57	非公開
	考古資料	千葉寺経塚出土資料	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館内）	千葉県	H15	非公開
		浅間山古墳石室出土遺物	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館内）	千葉県	H20	公　開
無形文化財		陶芸　鉄絵銅彩		神谷紀雄（保持者）	H19	
		日本刀の鍛錬		松田周二（保持者）	H26	
		武術　立身流		加藤　敦（保持者）	S53	
民俗文化財	有形	利根川下流域の漁猟用具	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館内）	千葉県	H17	非公開
	無形	浅間神社の神楽	稲毛区稲毛 1-15	稲毛浅間神社神楽連	S37	特定日公開
		下総三山の七年祭り	千葉市・船橋市・八千代市・習志野市	七年まつり保存会	H15	特定日公開
記念物	史跡	戸塚派楊心流流祖戸塚彦介英俊・二代戸塚英美墓	中央区市場町 10-11	胤重寺	S18	公　開
		青木昆陽甘藷試作地	花見川区幕張町 4-594-2	千葉市	S29	公　開
		長谷部貝塚	緑区平山町 1204 ほか	袖ヶ浦カンツリー倶楽部	S35	非公開
		大覚寺山古墳	中央区生実町 1861-1 ほか	千葉市	S45	公　開
		荻生道遺跡	緑区小食土町 747 ほか（昭和の森公園内）	個人	S53	公　開
		東寺山貝塚	若葉区みつわ台 1-18	千葉市	S54	公　開
	天然記念物	千葉寺ノ公孫樹	中央区千葉寺町 161	千葉寺	S10	公　開
		検見川の大賀蓮	花見川区畑町 1051	東京大学緑地植物実験所	S28	特定日公開
		袖ケ浦市吉野田の清川層産出の脊椎動物化石	中央区青葉町 955-2（千葉県立中央博物館内）	千葉県	H19	公　開

5　市指定文化財　52 件

種　別		名　称	所　在　地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
有形文化財	建造物	五輪塔	稲毛区轟町 1-7-20	来迎寺	S40	公　開
		五日堂の五輪塔	緑区誉田町 1-139	本満寺	S42	公　開
		伝千葉宗胤五輪塔	中央区弁天 4-7-23	宗胤寺	S42	公　開
		ジャジャシキの石造五輪塔	緑区越智町 171	個人	S62	公　開
		旧生浜町役場庁舎	中央区浜野町 1290-3	千葉市	H6	公　開
		旧川崎銀行千葉支店本館	中央区中央 3-10-8	千葉市	H7	公　開
	彫刻	大日如来坐像	花見川区幕張町 2-1003	宝幢寺	S35	非公開
		阿弥陀如来立像	花見川区幕張町 2-1003	宝幢寺	S35	非公開
		薬師如来像	若葉区高品町 478	等覚寺	S36	非公開
		月光菩薩像	若葉区高品町 478	等覚寺	S36	非公開
		小壁嵌板彫刻	中央区登戸 3-3-8	登渡神社	S42	公　開
		善光寺式観世音立像	緑区平山町 278	東光院	S42	非公開
		長沼の駒形大仏	稲毛区長沼町（長沼駒形観音堂境内）	長沼町内会	S49	公　開
		木造妙見菩薩立像	若葉区大宮町 3869	栄福寺	S62	非公開
		木造天部形立像２躯	緑区平山町 278	東光院	H11	非公開
		木造阿弥陀如来坐像	中央区川戸町 694	福寿院	H11	非公開
		木造勢至菩薩立像	緑区おゆみ野有吉 31-4	泉蔵寺	H11	非公開
		木造釈迦如来坐像	中央区仁戸名町 194	仁守寺	H11	非公開
		木造阿弥陀如来立像	稲毛区轟町 1-7-20	来迎寺	H12	非公開
		木造不動明王頭部	中央区中央 4-5-6	光明寺	H12	非公開
		銅造千手観音菩薩坐像	中央区市場町 10-11	胤重寺	H12	非公開
		木造阿弥陀如来立像	中央区生実町 1738	大覚寺	H12	非公開
	工芸品	梵鐘	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	千葉市	S40	公　開
		銅板押出阿弥陀三尊像	緑区平山町 278	東光院	S42	非公開
		千眼神社の鰐口	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	天満宮	S49	公　開
	古文書	不受不施派関係古文書	中央区浜野町 1252	本行寺	S42	非公開
		原文書	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	千葉市	H28	非公開
	考古資料	七廻塚古墳出土品	中央区南生実町 1210（千葉市埋蔵文化財調査センター内）	千葉市	S34	公　開
		武石の板碑	花見川区武石町 1-1413	真蔵院	S34	公　開
		古瀬戸灰釉四耳壺	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	千葉市	H13	公　開
		常滑長頸壺	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	千葉市	H13	公　開

種　別		名　称	所　在　地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
有形文化財	考古資料	内野第１遺跡出土人面付土版	中央区南生実町1210(千葉市埋蔵文化財調査センター内)	千葉市	H23	公　開
		五十石遺跡出土把手付中空円面硯附　盤１点	中央区南生実町1210(千葉市埋蔵文化財調査センター内)	千葉市	H24	公　開
		中鹿子第２遺跡出土土偶	中央区南生実町1210(千葉市埋蔵文化財調査センター内)	千葉市	H25	公　開
		金光院の板碑	中央区亥鼻1-6-1（千葉市立郷土博物館内)	金光院	R6	非公開
		加曽利貝塚出土品	若葉区桜木町8-33-1(千葉市立加曽利貝塚博物館内) 中央区南生実町1210(千葉市埋蔵文化財調査センター内)			
	歴史資料	民間航空資料（プロペラ２枚)	中央区亥鼻1-6-1（千葉市立郷土博物館内)	千葉市・登渡神社	S58	公　開
民俗文化財	有形	大舟の飾り幕	中央区亥鼻1-6-1（千葉市立郷土博物館内)	寒川神社	R6	非公開
	無形	神楽・神楽書	中央区南生実町885	八劔神社神楽連	S37	特定日公開
記念物	史跡	猪鼻城跡（含七天王塚)	中央区亥鼻ほか	千葉市・千葉大学	S34	公　開
		千葉神社	中央区院内1-16-1	千葉神社	S34	公　開
		千葉寺境内	中央区千葉寺町161	千葉寺	S34	公　開
		千葉氏累代の墓碑	稲毛区轟町2-1-27	大日寺	S34	公　開
		荒久古墳	中央区青葉町（青葉の森公園内)	千葉県	S35	公　開
		公立千葉病院跡	中央区中央４丁目	千葉大学医学部	S36	公　開
		共立病院跡	中央区院内２丁目（院内公園内)	千葉大学医学部	S36	公　開
		恕閑塚	緑区誉田町2-11-3	個人	S42	公　開
		森川家累代の墓碑	中央区生実町1156	重俊院	S42	公　開
		滑橋貝塚	若葉区小倉町1014ほか	個人	S56	公　開
		千葉山	稲毛区園生町444-１ほか	金蔵院	S56	公　開
		千葉御茶屋御殿跡	若葉区御殿町2549	千葉市	H16	公　開
	名勝	稲毛の松林	稲毛区稲毛1-10-16ほか	千葉市・浅間神社ほか	S35	公　開

6　市地域文化財　10 件

種　別		名　　称	所　在　地	所有・管理者	指定年度	公開／非公開
有形文化財	建造物	千葉市ゆかりの家・いなげ（旧武見家住宅）	稲毛区稲毛 1-16-12	千葉市	H27	公　開
	古文書	平川町内会文書	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館内）	千葉市緑区平川町内会	H20	非公開
		稲荷町有文書	中央区稲荷町 2-8-30	稲荷神社	H22	非公開
	歴史資料	黒砂分教場の記念碑	稲毛区黒砂 4 丁目	黒砂第一自治会	H27	公　開
民俗文化財	無形	登戸の神楽囃子	中央区登戸 3-3-8	登渡神社登戸神楽囃子連	H20	特定日公開
		寒川神社の御浜下り	中央区寒川町 1-123	寒川神社氏子青年会	H21	特定日公開
		三代王神社の神楽	花見川区武石町 1-4	三代王神社神楽連	H22	特定日公開
		検見川神社の神楽・祭囃子	花見川区検見川町 1-1	検見川神社神楽囃子連	H25	特定日公開
記念物	史跡	遠近庵三市の追悼碑	花見川区検見川町 1-5	宝蔵院	H21	公　開
		「開有富」の開墾碑	花見川区作新台 5-14	春日神社	H21	公　開

■加曽利貝塚博物館

1　加曽利貝塚


▲空からみた加曽利貝塚

国内に約 2,400 か所ある縄文時代の貝塚の中で、全長が 300mを超える最大級の規模を誇る貝塚として知られる。学術的な価値も高く、明治時代から著名な人類学者・考古学者によって発掘調査が実施され、縄文時代の研究に欠くことのできない資料を数多く提供してきた。

現在、縄文時代中期を主体とする北貝塚、後期を主とする南貝塚とその周辺を含む約 15.1 万㎡が国の特別史跡に指定され、貝塚の保護を図るとともに、縄文時代の文化や暮らしに親しめる公園として公開・活用されている。公園内は縄文時代の植生に近い環境が復元・保全され、落葉広葉樹林を主とした緑が広がる。また、希少な動植物も生息しており、環境教育などへの活用も期待されている。

平成 24 年度から加曽利貝塚の価値を高め、その重要性を広く知ってもらうため、特別史跡指定を目指した取り組みを進め、平成 29 年 10 月 13 日に「縄文時代中期の貝塚を含む環状集落と後期の貝塚を含む馬蹄形集落から成る国内最大級の集落跡。考古学の研究史における重要性、埋蔵文化財保護の歴史、埋蔵文化財の整備と活用に関する先駆性、教科書等を通しての全国的な知名度等の様々な観点から、我が国文化の象徴として特に重要である。」として指定を受けた。平成 29 年度から 45 年ぶりに発掘調査に着手し、加曽利貝塚の規模や構造等の解明に向けた調査研究を継続的に進めている。

2　博物館の特色

貝塚そのものを展示対象とする「野外博物館」を目指し、昭和 41 年に開館した。加曽利貝塚の出土資料を中心とした館内展示と合わせ、貝塚の内部を常に観覧できるように設置された野外施設や復元集落を見学することで、貝塚や縄文時代の暮らしや文化について体感的に学ぶことができる。

平成 15 年度にはボランティアの育成・活用を開始し、見学ガイドや体験活動の充実など、来館者が縄文時代について興味深く学ぶための支援を行っている。

3　野外施設の整備

博物館の設置と合わせて整備が進められた北貝塚では、発掘した住居跡や貝塚の断面をいつでも見学できる観覧施設が昭和 43 年に整備された。一方、南貝塚では、昭和 63 年度から遊歩道や説明板、復元集落などが整備されるとともに、新たに貝塚の断面を観覧できる施設が設置された。このため現在では、北・南両貝塚の時代の異なる貝層断面を比較して見学できるようになった。

北貝塚の住居跡群の観覧施設では、露出している貝層断面や遺構面の劣化が進んでいたが、新たな薬剤による保存処理やレーザークリーニングによる実験が行われ、現在は発掘当初に近い状態で見学できる。令和２年度は、耐震補強などに関わる施設の改修工事、令和３年度に展示改修を行った上で、10 月に再オープンした。

平成 28 年度より来館者が縄文時代の暮らしや文化を想像しながら見学できる環境の整備に努めている。

なお、令和４年度に博物館隣接地に休憩施設「かそりえ」を整備、令和５年４月に開設し、利用者への利便性の向上を計り、令和７年度に復元集落エリアに復元住居（106 号）を設置、令和８年４月に公開し、縄文時代の暮らしを体感できる整備を行った。

4　館内の展示

○「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚をみる」を常設展とし、テーマを設けて企画展を実施している。



▲展示　「南貝塚貝層剥取り断面」



▲展示　企画展示　「加曽利Ｂ式展（千葉市編）」

5　入館状況（令和７年度）

年度	開館日数	個人	団体	合　計
7	308	53,566 人	4,974 人	58,540 人

6　事業の概要（令和８年度）

	行　事	期　間　・　期　日	募集人数	内　容　ほ　か
	「特別史跡加曽利貝塚 令和７年度発掘調査 速報展」	令和８年３月 17 日(火) ～6 月 28 日(日)	―	令和７年度に実施した発掘調査で出土した遺物等の展示。
	企画展 新千葉市指定文化財記念「ちばの宝物」	令和８年７月 22 日(水) ～9 月 27 日(日)	―	加曽利貝塚112号住居出土資料が新たに千葉市指定文化財に指定されたことを受け、「指定文化財」をテーマに、千葉市指定文化財を紹介するとともに、学芸員が選定した“ちばの宝物”を展示。
	ミニ企画展 令和８年度博物館実習生成果展示	令和８年８月１日(土) ～10 月 12 日(月・祝)	―	博物館学芸員実習の一環として作成した「貝のことゴカイしていませんか？」と題した展示。縄文時代の貝塚から出土した貝について紹介する。
	企画展「加曽利Ｂ式展 ―県南部編」	令和８年 10 月 20 日(火) ～令和９年２月 28 日(日)	―	加曽利貝塚が標式である加曽利Ｂ式土器について、千葉県南部の遺跡出土資料を展示する。あわせて主要な遺跡も紹介する。
	「特別史跡加曽利貝塚 令和８年度発掘調査 速報展」	令和９年３月 16(火) ～6月27日(日)	―	令和８年度実施の発掘調査で出土した遺物等の展示。

	行　事	期　間　・　期　日	募集人数	内　容　ほ　か
教育普及	縄文ひろば	毎月第2・4日曜日(除外日あり) ※18回開催予定	自由	縄文時代の火おこしやアンギン編みなどの体験学習や園内ガイド。
	縄文春まつり	令和8年5月3日(日・祝) ～5日(火・祝) ※3日間	自由	新復元住居でおはなし会「縄文人のくらし」、組ひもづくりや、土偶ペーパークラフトなどの体験学習を主体とするイベントを開催。 5月3日・4日は体験学習を主体とする内容とし、5月5日は飲食を伴うイベントも開催。
	考古学基礎講座	令和8年6月6日(土)	80人	縄文時代に関連した内容を主体に、初めて講座に参加する人にもわかるように平易に解説する基礎講座。
	夏休み縄文ウィーク	令和8年8月12日(水) ～15日(土)	自由	組ひもづくりや、土偶ペーパークラフト、縄文風釣り針でのヨーヨー釣り、発掘体験、学芸員によるワークシートチャレンジなどの体験学習を4日間にわたり継続的に実施。
	企画展関連講座	令和8年8月29日（土）	300人	夏の企画展「新千葉市指定文化財記念　ちばの宝物」に関連し、指定文化財について解説する講座。
	加曽利貝塚発掘調査体験	令和8年10月10日(土)中高生の部・31日（土）大学生・社会人の部	各回10人	加曽利貝塚発掘調査地点で発掘調査体験を実施する。
	自然観察 ワークショップ	令和8年10月11日(日)	30人	加曽利貝塚縄文遺跡公園内に生息する動植物を専門家とともに観察しながら散策する。
	縄文秋まつり	令和8年10月24日(土)・25日(日)	自由	組ひもづくりや、土偶ペーパークラフトなどの体験学習を主体とするイベントを開催。 10月24日は飲食を伴うイベントとし、25日は体験学習を主体とする内容とする。
	講座「縄文時代を学ぶ」	①令和８年11月14日、②12月6日、③令和９年1月16日、④2月13日の各土曜日 ※②のみ日曜日	各回40人	縄文時代、加曽利貝塚に関連した内容を主体に、加曽利Ｂ式土器や、県内の遺跡、関連学問をテーマとした講座。
	特別研究講座「考古学と民族学―民族学がもたらす考古学への新知見」	令和8年12月19日(土)	300人	考古学の専門家および一般市民を対象とした特別研究講座。令和８年度は民族考古学や民族学の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、民族学から考古学や縄文時代研究がどのような知見を得ることができるのかについて探る。
調査研究	加曽利Ｂ式土器に関する集成研究			
出版	「貝塚博物館紀要」の刊行			

7　博物館の整備

博物館は昭和 41 年の開館から半世紀以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、平成 30 年度に策定した特別史跡加曽利貝塚グランドデザインに基づき、博物館の移転や史跡整備を行う。これまで、北貝塚竪穴住居跡観覧施設の改修、南貝塚の園路等改修、便益施設「かそりえ」の新築等、各種史跡内整備を実施したほか、令和３年度に策定した特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画に基づき、令和７年度には DBO 方式により整備運営する事業者を選定した。

今後は、整備運営事業者とともに民間のノウハウを活用した魅力ある博物館づくりに取り組むとともに、史跡内においても、新博物館の開館を見据えた次期整備計画について検討していく。

■郷土博物館

昭和 42 年４月、観光課の所管施設「千葉市郷土館」として開館、昭和 51 年７月に教育委員会社会教育課へ移管、昭和 54 年４月、文化課の設置にともない本市における社会教育施設としての方向づけがなされた。

その後、昭和 58 年４月に「千葉市立郷土博物館」と館名を改めた。主として歴史・民俗系の博物館として活動しており、同時に市史編さん事業も行っている。

平成 19 年４月より教育委員会の組織改革に伴い、生涯学習振興課の所管となり、平成 27 年４月からは文化財課の所管となっている。

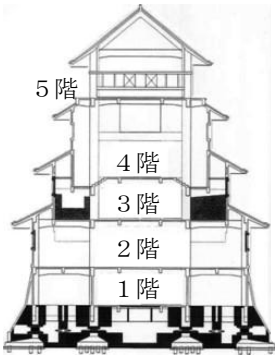


▲郷土博物館

令和６年９月から継続していた展示リニューアルが完了し､原始｡古代から現代まで通史で学べる展示に変更となり、令和７年 11 月８日にリニューアルオープンした。

1　施設及び展示内容（展示導線順）

1 階　企画展示室・歴史を楽しくまなぶ千葉介の「虎の巻」
5 階　展望室・ちば一望ラウンジ
4 階　原始・古代
3 階　中世
2 階　近世・近現代



2　入館状況（令和７年度）

年度	開館日数	大　人		小・中学生		その他（ボランティア等）	合　計
		個人	団体	個人	団体		
7	119	29,163 人	1,372 人	5,263 人	704 人	1,048 人	37,550 人

3　展示事業（令和８年度）

事　業　名	期　日　等	内 容 ・ 目 的 等
千葉開府 900 年記念特別展 「千葉氏リターンズ」	令和8年7月18日(土) ～ 令和8年9月6日(日)	8月の千葉氏サミットに合わせ、サミット加盟自治体等が所蔵する貴重な資料を「里帰り（リターン)」。千葉氏は本市を超えて全国に広がり、各地で多彩な発展を遂げ、多大な影響を残した存在であったことを紹介。
千葉開府 900 年記念特別展 「千葉まちアンソロジー」	令和8年10月10日(土) ～ 令和8年12月6日(日)	千葉のまちは、平安時代末期に千葉氏が本拠を構えたことを契機に発展した。「千葉氏によってつくられた千葉まち 900 年のあゆみ」を古代・中世・近世・近現代の多種多様な資料をまとめた「作品集（アンソロジー)」として紹介。

4　教育普及事業（令和８年度）

事　業　名	期　日　等	内 容 ・ 目 的 等
鎧の着用体験	令和8年4月～令和9年3月 毎月第3土曜日 ※企画展開催中は未実施	中世の鎧を洋服の上から着用する体験を通し、当時の歴史について理解を深める。
火縄銃演武	令和8年8月16日(日)	火縄銃の実射(空砲)を行う。銃の現物資料や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で見学し、歴史理解を深める。 ※親子三代夏祭りの開会式で演武を実施
千葉氏公開市民講座	①　令和8年6月13日(土) ②　令和8年12月12日(土)	千葉氏の歴史に関する市民向けの講座を実施
出前授業	通年	市内小中学校からの要望に応じて、郷土の歴史に関する授業を行う。

5　資料収集保管事業

展示・研究に必要な資料の収集・保管（令和７年度までの収集点数）

歴　史	民　俗	書　籍	科学等	美　術	合　計
5,692 点	6,823 点	19,258 点	143 点	413 点	32,329 点

6　調査研究事業（令和８年度）

事　業　名	調　査　内　容
千葉市民俗調査	高齢者からの聞きとり調査を中心にして、失われていく昔の生活の様子等に関する資料を収集する。
千葉氏関係史料調査	各地に残されている千葉氏に関する史料を探索し、収集・調査・整理する。

7　市史編さん事業（令和８年度）

事　業　名		事　業　内　容	
史料調査収集事業		市内の歴史資料の調査・収集・整理	
市史等の刊行		『千葉市史史料編近現代』刊行に向けた掲載資料の選定作業	
市史普及事業		対象・回数	事　業　内　容
	市史研究講座	市民・2回	千葉市史等をもとに市域内の歴史的事柄を解説する。 テーマ：千葉市域や近隣地域の歴史を学ぶ
	初級古文書講座 （午前・午後）	市民 ・各6回	古文書の講読を通して江戸時代の郷土を理解する。 テーマ：江戸時代の村の古文書を読む
	中級古文書講座	市民・6回	古文書の読解力・文章把握力を高める。 テーマ：江戸時代の村の資料を読む

■科学館

千葉中央第六地区市街地再開発事業における公共公営施設のひとつとして、千葉市科学館が開館した。この科学館は、常設展示、プラネタリウム投影、ワークショップ、講座を通して、青少年の創造力の涵養、並びに市民文化の向上を目的に、千葉市の科学の拠点を目指し設置するもので、“参加体験型科学館”を目指し、幅広い年齢層に対応する施設を目指すものである。

1　施設の概要

(1) 開 館 日　　平成 19 年 10 月 20 日
(2) 住　　所　　千葉市中央区中央 4-5-1
　　Qiball（きぼーる）内
(3) 施設構成　　常設展示室、企画展示室、
　　プラネタリウム室
(4) 延床面積　　19,899.41 ㎡
(5) 開館時間　　9：00～19：00
　　(プラネタリウム最終投影は 19:00～)
(6) 休 館 日　　年末年始、施設の保守点検日
(7) 駐 車 場　　大型バス 4 台、自家用車は隣接駐車場を利用（有料）
(8) 交　　通　　モノレール葭川公園下車徒歩５分


▲千葉市科学館（Qiball（きぼーる） 7～10 階）

2　運営の特色

運営コンセプトに“人が主役”“来館者との体験の共有”の２つのキーワードを設定している。各展示エリアには、展示品に加えスタッフやボランティア等、人を介した探究の場を設けている。

また、利用者が実際に手を触れながら学べる展示物や、貸出タブレットによって展示内容をさらに深めるためのＡＲ体験ができるエリア（２０箇所）を配置している。令和４年に「最新の科学をより魅力的にさらにわかりやすく」をコンセプトに、展示物の一部をリニューアルしている。リニューアルのテーマは「地底、深海、宇宙」で、千葉に関わりのある科学技術や、世界や日本の最新科学技術についての展示物が増えている。令和７年 1 月にプラネタリウム投影機、投影システムの更新を行い、より高精細な星空や天体の観察が可能になった。

3　入館状況（令和７年度）

年度	開館日数	常設展示室	プラネタリウム	企画展	合　計
7	337	256,536 人	153,396 人	53,886 人	463,818 人

4　常設展示室の構成

８階より 10 階までの３フロアが常設展示室で、およそ 140 の展示物とワークショップの場を設定している。

８階は“ワンダータウン”といい、光や音のような物理の世界、数や形といった数学の世界、視覚や聴覚などのヒトの感覚や運動能力の不思議といった身の回りの科学を扱い、諸室として科学実験室・講義室を設けている。

９階は“テクノタウン”といい、私たちの暮らしを支える産業などで使われている技術や資源探査をテーマとしている。諸室としては、科学工作室がある。

10 階は“ジオタウン”で、地球や宇宙、自然などスケールの大きな科学をテーマとしている。諸室としては探究実験室が設置されている。

5　プラネタリウム

Qiball（きぼーる）のシンボルマークである球体で、直径 23mのドームに 200 の座席を配置し、投影機は光学式投影機とプロジェクターによる最新ハイブリッド型を採用している。令和 7 年 1 月にプラネタリウム投影機、投影システムの更新を行った。従来機器の約 20 倍にあたる約 300 個の恒星に固有の色を付加し、星の明るさだけではなく色彩までも再現することができ、星空の美しさ、特に天の川の精緻な描写、また星空の説明案内においてもデジタル技術が盛り込まれたものである。

生解説に全天周映像番組等を織り交ぜながら、幅広い年齢層に対応した番組を投影することとしている。

6　企画展（令和８年度）

企画展名称	開催期間	主な内容
春の企画展「実験道具の世界」	令和 8 年 3 月 20 日 ～5 月 6 日	学校の理科の時間でお馴染みの実験道具から少し特殊な実験道具まで、それぞれが持つ利便性だけでなく、その洗練された美しさにも注目し、紹介する。
夏の特別展「ちばディノランド！」	令和 8 年 7 月 1 日 ～8 月 31 日	科学の視点を盛り込んだ体験型の展示を通し、来場者の好奇心や探究心を育む場とする。また、模型や複製図などを作成する際の創意工夫も紹介し、恐竜の魅力をさらに深める。
秋の企画展「糸が織りなす数学アートの世界」	令和 8 年 10 月 24 日 ～11 月 15 日	令和元年に実施した「糸かけ」に関する企画展の第二弾。今回は立体的な作品も展示する。アート的な美しさの中に、算数・数学的な規則性が隠されていることを紹介。科学と文化の視点を融合させた、新たな視点を提供する。
冬の企画展「ふくしま星・月のある風景写真展」	令和 8 年 12 月 12 日 ～令和 9 年 1 月 11 日	震災から 15 年、高村光太郎の「智恵子抄」で「ほんとの空がある」と言われた福島県の美しい風景と星空を撮影した写真展を開催し、自然や科学への興味関心を喚起する。
春の企画展「ヒカリのふしぎ展 Part1」	令和 9 年 3 月 20 日 ～4 月 4 日	「光」は身の回りに当たり前のもの（事）として存在し、光を活用した様々な製品や技術がたくさんある。展示を通し、光の性質・原理・特徴について学ぶ。また、体験を通して、「光」の面白さ、奥深さを知るきっかけとする。

7　千葉市科学フェスタ

世代や立場を越えて交流できる場を創成し、科学をキーワードに新たなつながりやアイデアなどが生まれる「科学フォーラム（場）」を作り出すことを目的に毎年 10 月をフェスタ月間と位置づけている。科学フェスタをきっかけとして、市民個人、教育関係機関、企業、市民団体等の様々な機関がネットワークを結び、連携することで、科学コミュニケーション活動の活性化を図る。

千葉市科学フェスタ 2026 メインイベントは令和 8 年 10 月 10 日～11 日にきぼーる内の１階きぼーる広場、２階アトリウム、７～１０階科学館、１５階ボランティア活動室で行われる。2026 テーマは「これからの私たち」。



▲企業や学校などによる出展ブース
（写真は令和７年度のようす）



▲科学実験や工作などの体験ができる
（写真は令和７年度のようす）